

農業農村整備「女性活躍」事例集

生産性の高い農業と活力ある
農村を実現する農業農村整備

平成31年2月
北海道農政部

■農業農村整備「女性活躍」事例集(目次)

振興局	タイトル	関係市町村	主な作物	頁
空知				
東部耕地出張所	「北の大地マルシェ」人が訪れる地域づくり	岩見沢市	水稲、小麦、大豆、落花生、トマト等	1
南部耕地出張所	風土と食を守る「マオイFood研究会」の取り組み	長沼町	水稲、小麦、大豆、ブロッコリー、キュウリ、トマト等	2
北部耕地出張所	JA農産物直売所「e c i R(えしる)」で新鮮野菜販売の拡大	深川市	水稲、豆類、ブロッコリー、キュウリ、トマト等	3
石狩	自家栽培のお米や黒豆などを主原料とした商品開発・販売	当別町	水稲、小麦、大豆等	4
後志	観光と融合した6次産業化で地域を活性化	二セコ町	生乳、野菜、馬鈴薯、水稲	5
日高	家族経営牧場による安心・安全な自社ブランド牛乳・チーズ販売	新冠町	水稲、ピーマン、牧草	6
檜山	加工品の開発や道の駅での販売で地域を活性化	上ノ国町	さやえんどう、さやいんげん、トマト、アスパラ等	7
上川				
南部耕地出張所	安心・安全な地元の農産物を地元の食卓へ	上富良野町	水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、玉ねぎ、人参等	8
中部整備室	農地の大区画化による労働時間軽減で新しい加工品への挑戦	美瑛町	水稲、小麦、大豆等	9
北部耕地出張所	経営規模拡大には大区画化と妻の営農力が不可欠	名寄市	もち米、小麦、大豆、馬鈴薯等	10
留萌	加工品の開発や道の駅での販売で地域を活性化	遠別町	水稲、小麦、かぼちゃ、ミニトマト等	11
宗谷	地元産の食材を生かした食文化の伝承で地域を活性化	豊富町	牧草等	12
オホーツク				
西部耕地出張所	加工品の開発やイベントでの販売で地域を活性化	湧別町	牧草、デントコーン等	13
十勝				
南部耕地出張所	女性たちの活躍が未来に繋がる「職」になる	芽室町	小麦、豆、馬鈴薯、甜菜、スイートコーン等	14
東部耕地出張所	野菜を栽培して道の駅で積極的な販売を実践	更別村	小麦、甜菜、馬鈴薯、豆類等	15
根室	牛乳の消費拡大で地域を活性化	根室市	牧草等	16

「北の大地マルシェ」人が訪れる地域づくり

地域概要

北海道



豊正中央地区
他

【主要作物】

・水稲・小麦・大豆・落花生・トマト・野菜 等

【主な基盤整備】

・道営土地改良総合整備事業 (H14～H18)

【整備前】

地区内のほ場は狭く、特に排水性が悪く転作作物の生育に支障があった。



平均区画0.3ha

基盤整備

【整備後】

○農地の大区画化により、作業時間が短くなった
○暗渠排水の整備により、野菜の生産が可能になった。



平均区画1.0ha

女性たちの声



K.Yさん

2015年から「北の大地マルシェ」代表

VOICE

基盤整備により農作業時間が短縮となり地域活動に取り組みやすくなりました。

- 区画整理や暗渠排水の整備により田植えや収穫作業について、整備前は小区画で作業に時間がかかり、苦労しました。整備後は大区画化により作業時間が短くなり、野菜の生産に取り組めるようになりました。
- JA空き店舗を活用して、直売所「北の大地マルシェ」を開店しました。
- 野菜の直売・加工、消費者交流など地域活動作業ができるようになりました。
- 直売所ではカフェも併設し、地域住民の憩いの場となるよう目指しています。

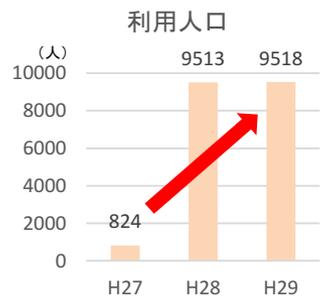
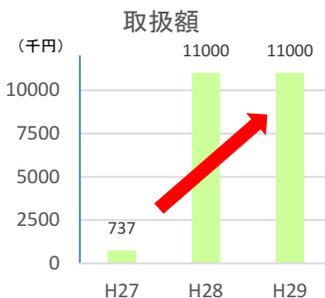
地域コミュニティの維持・発展へ

○「北の大地マルシェ」設立後、地域に人が集まり、取扱額・利用人口が大きく増加。

○直売所やカフェでの雇用により、地域コミュニティを次世代へ。



北の大地マルシェ会員の皆さん



私たちのチャレンジ



直売所

○個人経営から始まった直売所で40名の会員と共に、落花生やイタリアンパセリ等新しい野菜も販売開始。



ピクニック交流会

○「ピクニック交流会」を開催し、農村散歩と地元野菜を用いた料理により農村資源や景観の良さをPR。



バジルソース加工

○加工品として、ゆで落花生や、バジルソースなど新商品を開発。

野菜直売所を中心とした地域活性化の取り組みの展開

風土と食を守る「マオイFood研究会」の取り組み

地域概要



【主要作物】

・水稲、小麦、大豆、ブロッコリー、
きゅうり、トマト、大根 等

【主な基盤整備】

- ・道営ほ場整備事業 優勢第2地区 (H8～H15)
- ・道営農地整備事業 西長沼東地区 (H26～)

【整備前】 区画が狭小かつ排水不良により生産性が低い。



基盤整備

【整備後】 大区画化及び排水改良により、安定した作物生産が可能になった。



女性たちの声



「マオイFood研究会」のみなさん

「マオイFood研究会」
長沼町グリーンツーリズム事業をきっかけに農家のお母さんにより結成された女性グループ。

VOICE

基盤整備により大豆や野菜類の生産が安定しました。

○整備前は、区画が狭小かつ排水不良のため機械作業も大変でした。機械が入れない箇所は**人力作業となり大きな負担**となっていました。

○排水不良のため、大豆や野菜の**生産が不安定**でしたが、整備後、**大豆の作付けは増えています**。

○空いた時間を活用し、町・JA・普及センターの協力や助言を得て**食育活動**を行うようになりました。

私たちのチャレンジ

大豆などの長沼町産食材を使った加工品の販売や食育活動により地域が活性化

○学校給食センターの依頼で野菜を提供することにより、**野菜の播種期をずらすなどの工夫も**。作付け面積北海道一の大豆を活用した料理「豆腐マイスター認定講座」の受講し、社会教育の一環として講座を開催。



Action 1



(マオイFood/バイキング)

○スローフードメニューや食材の提供、調理を行っています。**長沼町産にこだわった食材**で調理。

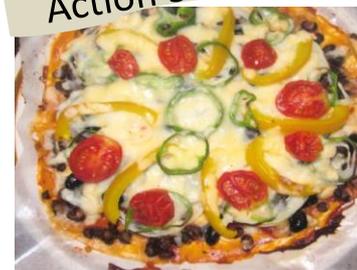
Action 2



(長沼産大豆、米による手作りみそ)

○大豆のまちとして、町内から無くなっていった**豆腐屋の復活**や**味噌づくり**を行い、直売所や道の駅で販売。

Action 3



(お豆のパラダイスピザ)

○大豆の生産拡大により、**「大豆料理」を考案し、町広報誌に大豆レシピの紹介**し、大豆のまちをPR。

大豆をはじめとした農作物による風土と食を守る取り組みを実践

JA農産物直売所「e ci R (えしる)」で新鮮野菜販売の拡大

地域概要



【主要作物】

- ・水稲・豆類・ブロッコリー
- ・キュウリ・トマト・メロン等

【主な基盤整備】

- ・道営土地改良総合整備事業 一己西(H5～H11)
- ・道営農地整備事業 神竜秩父別地区(H25～)

【整備前】

区画小さく、排水不良のため野菜生産に支障があった。



基盤整備

【整備後】

大区画化や排水改良により野菜作付けが可能になった。



女性たちの声



H.Mさん
(きたそらち旬菜部会長)

VOICE

基盤整備により、安定した野菜生産が可能になりました。

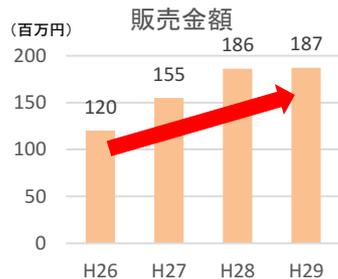
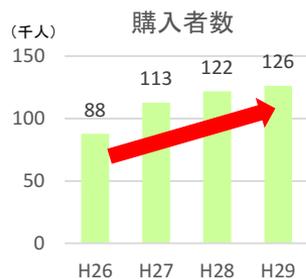
○排水改良により、**生育不良が少なくなりました**。また、収穫作業も**ほ場の排水性が良くなったため、適期に行うことができる**ようになりました。

○少人数で始めた直売の取組にも基盤整備により安定的な生産が可能となったことにより、**出荷登録者が年々増加し、現在では54名ほど**になりました。

○新鮮な野菜を安く提供し、お客さんに喜ばれることが楽しみです。

野菜の安定生産により地域の活性化

○ JA農産物直売所で新鮮取れたて野菜の販売により、年々**集客及び販売額が増加し、地域の活性化**につながっている。



私たちのチャレンジ

○**トマト、きゅうり**等の野菜を収穫後速やかに**即日出荷**しています。

○**国道や高速道ICに近い立地**を生かし、様々な購入者へ野菜の良さがよりわかるように、**陳列や包装規格を統一し販売**しています。

○**西洋野菜にもチャレンジ**し、地域に合う野菜の生産の勉強をしています。



新鮮野菜が人気を集め、全道各地からお客さんが訪れるように！

地域概要



【主要作物】
・水稲、小麦、大豆 等
【主な基盤整備】
・道営経営体育成基盤整備事業 (H14~H18)

農地の大区画化・高度化

【整備前】
狭小で用排水路、農道、暗渠排水も整備されておらず、効率的な作業や転作作物の導入が進まない。



基盤整備

【整備後】
ほ場大区画化に併せた用排水路等の一体的な整備により、農作業機械の効率的な作業が可能となり野菜等新規作物の導入が進んだ。



女性たちの声



T.Nさん

○平成18年有限会社【ひな田屋】代表として商品開発加工販売の取り組み。
○地域農業の中核的担い手として平成25年農業士として認定。

VOICE

農地整備が行われ、ほ場作業が軽減されたことで、商品開発・販売が実現しました。

○私の業務は、農地整備により農作業の補助から農産加工品の製造・販売が中心となりました。ほ場での作業は主人が担当しています。

○農場と分けて経営する事で生産と販売の把握や役割分担が明確になりました。

○今後は、農場での収益を上げると共に加工・販売でも付加価値をつけ相乗効果を上げていきたいです。

私たちのチャレンジ

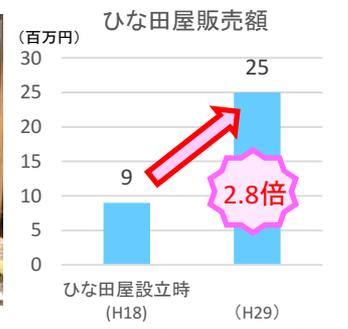
自社農場の生産食材で会社の顔となる様な商品を作りたい！

商品販売による地域活性化

○会社設立により従業員2名のほか、臨時職員4名の新たな雇用の創出。
○当別町の地域ブランド『とうべつrandeli』の認証を受け地域振興に大きく貢献。



(道産品セレクトショップへの出店)



Action 1



(恩結び米団子)

Action 2



(どらころん)

Action 3



(自社菓子製造工房)

○平成18年：自家製米で米の弾力・風味にこだわった『恩結び米団子』開発・発売
○平成22年：自家製の黒豆のあん・黒米の餅にマロンクリームを米粉入り生地で包んだボリュームたっぷりのどら焼きの開発。
ネーミングは町内募集により100のネーミングの中から『どらころん』として発売。
○平成28年：自社菓子製造工房稼働。
「北歐の風 道の駅とうべつ」やJR当別駅前「ふれあい倉庫」などのほかイベントでの販売。

観光と融合した6次産業化で地域を活性化

地域概要

北海道 ニセコ町 (過疎、特別豪雪)



【主要農畜産物】

・生乳、野菜、馬鈴薯、水稻

【主な基盤整備】

- ・国営緊急農地再編整備事業 (H26～)
- ・草地畜産基盤整備事業 (H24～H27)
- ・畜産環境整備特別対策事業 (H12～H14)

飼料生産体制の協業化

【整備前】

農家戸数の減少による地域機能の減退や、不陸・裸地化等により飼料基盤の生産力低下が進み、乳量・乳質が伸び悩んでいた。



基盤整備

(H12年～H14年、H24年～)

【整備後】

- 収穫の作業性が向上し、栄養価の高い自給粗飼料の給与で乳量・乳質が向上。
- TMR(完全混合飼料)センターの整備により、飼料生産から供給までが協業化され、労働及び生産コストが低減。



女性たちの声



株式会社高橋牧場
高井店長

加工品の販売店舗

を開設するのを機に、百貨店を辞め、家族と共に自身の実家である高橋牧場に戻り、店長(加工・販売部門の責任者)に就任。

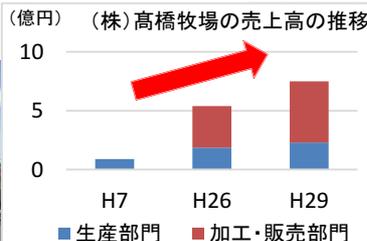
VOICE

農地や飼料供給体制がしっかりしたので、女性の活躍の場が広がっています！

- 基盤整備により農地が大きく平らになったので機械操作が容易になり、**女性でも機械作業**ができるようになりました。
- TMRセンターから良質な飼料が供給されるようになり、**乳量が増え、乳質も向上**しました。また、それまでの牧草収穫は家族総出で行うきつい作業でしたが、こうした飼料生産に必要な**労力を、乳牛の飼養頭数増加や加工・販売部門に向けることができる**ようになりました。
- 株式会社高橋牧場では、より品質の向上した自社の生乳を使い、**素材を活かした高品質な乳製品を安定的に生産**できるようになりました。また、**従業員には女性を積極的に採用**しており、子育てしながら働いている方もいます。

観光スポットとなり、地域も活性化！

- 景色を含め、ここでしか味わえないものを求めて**年間30万人以上**が来店。多くの道内外・海外からの観光客が訪れる**ニセコ町を代表する通年観光スポットに成長**。
- 周辺に外食場所が少ないことから、地元の生産者と連携し、**地元野菜をビュッフェ形式で提供するレストランや直売所も開設**。また、レストラン開設に合わせ、**経営を法人化し、現在は約60名を雇用**している。



【出典：法人からの聞き取り】

私たちのチャレンジ

Action 1



- **アイスクリームとむヨーグルト**から始めた加工・販売は、**シュークリーム、バームクーヘン、チーズタルト**等の新商品を開発。

Action 2



- 自社の生乳を使用した**チーズとピザ**を製造するための工場を建設。今後は、**子供たちのチーズ作り体験事業**を実施する予定。

牛たちの恵みを後世に伝えたい！ 輸出にも積極的に挑戦！

地域概要

北海道



新冠町

【主要作物】

・牧草、水稻、ピーマン

【主な基盤整備】

- ・中山間地域総合整備事業(H19～H24)
- ・基盤整備促進事業(H28～H31)

○石山牧場の母牛は、次の子牛が生まれるまで(誕生～分娩)の約2年間を青空の下、丘陵地で放牧。

○良質な牧草を与えるため品質向上を目的に**基盤整備(暗渠排水)を実施**。



【整備前】

(草地に溜まった雨水)

【整備後】

(↑暗渠管を設置)

牧場で生産した牛乳を自分達で加工・販売・宅配まで

- 基盤整備で**草地の暗渠排水等の整備**を行い、**排水性が高まった**ことにより、**良質な牧草**を牛に与えることができた。
- 牧草の品質向上により、**乳量・乳質の向上**が図られた。
- **牧草の生産量が増え**、自給飼料割合向上し、**経営コストが削減**された。

- **ご主人**(基盤整備事業の受益者)が牧場経営による牛乳生産。
- **息子さん**は、大学で乳製品を学び**乳業メーカー勤務後、地元に戻りストリングチーズ等の製造を開始**。
- **奥様**が地元民なら誰でも知っている**低温殺菌・成分無調整の「ホロシリ牛乳」を加工・販売・宅配**を行う**有限会社の代表**。



女性たちの声



石山牧場の奥様

VOICE

- 基盤整備実施前は排水性も悪く、機械がぬかったりもしたし、良い牛乳にはエサが大事ですが、水はけが悪いと良い草にならず牛の食べ方でもわかりました。暗渠を入れた後は、**排水性が改善**されて、**機械も入れるようになり、草の品質も向上して良かった**です。
- 今後、新規就農希望者が酪農業を目指す場合でも**良い草地にしてあげないと魅力を持って酪農をすることができない**と考えています。
- これからも**地場産を生かし、町内外の方ともコラボなどして自社以外で何か地域から発信**できたらと思っています。
- 宅配をやっているからこそ、**お客様の声を直接聞く**ことができ、今後もその声を大事に、楽しみながら、おもてなしの心で何かできればと考えています。

私たちのチャレンジ

- 道の駅サラブレッドロード新冠での**地場産品即売会に出店**。
- 丸井今井札幌本店の**道産食品販売店「きたキッチン」**の他全道計**4箇所**で販売
- 販売の9割を占める**宅配は700軒以上で週5回**。パン屋(町外)・温泉施設(町内・外)に届けたあとに個人宅への配達を始める。「**何もなければ地方はじり貧のままになる。これから新しいことを考えながら、安心して安全な商品を作り続けたい。**」



○新たな自社ブランド製品の開発を目指す「鈴の鳴る道」のメンバー



○子育てでサークルでホロシリ牛乳を使用した料理教室



○自社ブランドのホロシリ牛乳とチーズ

加工品の開発や道の駅での販売で地域を活性化

地域概要



- 【主要作物】
 さやえんどう、トマト、ばれいしょ、さやいんげん、アスパラ、ブロッコリー、にら
- 【主な基盤整備】
 中山間地域総合整備事業 (H14～H18)
 農地整備事業(経営体育成型) (H27～H36)

基盤整備

(整備前)
 小区画で排水不良のため、農作業に多大な時間と労力を要していた。



(整備後)
 基盤整備により、各種野菜の栽培が可能となった。



女性たちの声



たんぽぽ会 代表Hさん

VOICE

○基盤整備により、野菜の栽培が可能となり、**直売所での野菜販売や加工品の開発、製造、販売**につながりました。

○集落の仲間たちと集まることができるのが楽しみです。

(たんぽぽ会は、上ノ国町のお母さん6人で上ノ国町の「手作り加工センター」で農作業の合間の時間に活動し、食品加工を行っている会)

私たちのチャレンジ

創設された時間で農産物の加工・販売

- 道の駅の直売所でレタス、さやえんどう、トマト等様々な種類の**野菜を販売**しています。
- 地場産の大豆(たまふくら)、お米、麴を使用し、防腐剤・添加物を一切使わずに作る**「手作りみそ」や乾燥野菜等の加工・販売**もしています。



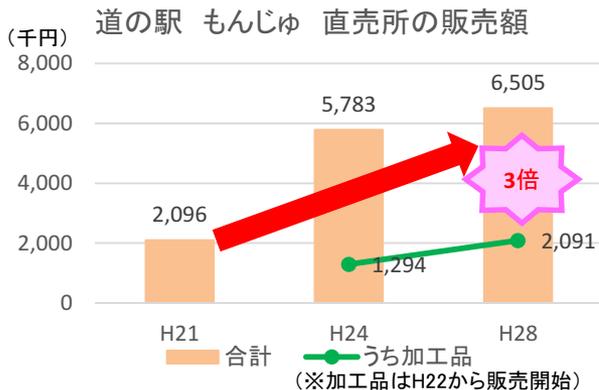
手作りみそ



様々な野菜の販売

地元野菜や農産加工品の販売額の増

- 直売所での販売額が開始当初と比べて**約3倍**に増加。
- 農業雑誌でも紹介**され、全道にファンが広がり、特に**加工品の販売が好調**。



手間を惜しまず”伝統の味“を継承

- 古くから伝わる伝統の味を作る人が少なくなり、**食文化を継承**するため手間を惜しまずに、会員が生産した米粉を使用した**「かたこもち」等の伝統食の製造販売**に取り組んでいます。



伝統の味「かたこもち」